

# 蔵王の森の四季

～'19夏～

梅雨明けが早く「猛暑、酷暑」といわれた昨年の夏とは反対に、曇天が続き日照不足が心配された7月でしたが、月末にやっと梅雨が明けました。

夏の蔵王の森では、さなぎから成虫になったジャコウアゲハが舞っています。また、五霊池では、メダカやカエルが元気に泳いでいます。



## ジャコウアゲハは、ふしぎがいっぱい！

6月中旬、3年生は理科の授業で、市自然に親しむ会の方をお呼びして、ジャコウアゲハの育ちの学習をしました。ジャコウアゲハの幼虫（写真中央）に触れたり、オレンジ色のさなぎを観察したり、またその不思議をたくさん教えていただきました。児童は、始めは恐る恐る触れていましたが、他のチョウとの違いに興味津々の様子でした。蔵王の森では、毎年夏になると、ジャコウアゲハのたまごから成虫になるまでの様子を見ることができ、理科の教材として利用しています。

## 「子どもの森を守る」…草刈りボランティア活躍中

昨年度から毎週木曜日を「木の日」と定め、蔵王の森を児童に開放しています。森に行くのは下学年が中心ですが、花を摘んだり、実をとったり、また虫を追いかけたり、メダカをすくったりと、たくさんの生き物に触れ、自然に親しんでいます。

こうした活動を支えてくださっているのが、PTAや後援会の皆様から募った草刈りボランティアの方々です。

今年は、6月から年間3回（1回は全校での親子奉仕活動）計画しています。7月の活動では、野球部のお父さん達も参加してくださり、短時間できれいになりました。ご協力ありがとうございました。

